

5. 関西医科大学大学院看護学研究科履修規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、関西医科大学大学院学則（以下「学則」という。）第14条の規定に基づき、看護学研究科（以下「研究科」という。）の教育課程及び履修方法等に関して必要な事項を定める。

(履修コース)

第2条 博士前期課程に、研究者コース、臨床看護教育者コース及び高度実践看護師コースを設ける。

2 前項の各コースを置く領域は、別表1に定める。

3 博士後期課程の各研究分野に、教育・研究コースを設ける。

(指導教員)

第3条 学生の履修、研究及び論文の指導等のための指導教員を置く。

2 前項の指導教員は、原則として当該学生が専攻する研究分野の教授を主指導教員とする。ただし、必要があるときは、研究科委員会で認めた教員をもって充てることができる。

3 前項の主指導教員に加え、副指導教員を置くことができる。

4 主指導教員及び副指導教員は研究科委員会が決定する。

5 主指導教員の変更は、原則として認めない。ただし、特別の事情が生じた場合に限り、研究科委員会の議を経て看護学研究科長（以下「研究科長」という。）がこれを認めるものとする。

(授業の方法)

第4条 授業は、講義、演習若しくは実習のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

(授業時間)

第5条 授業時間は、次のとおりとする。ただし、必要に応じ、これを変更して授業を行うことがある。

1 時限 9：00～10：10 2 時限 10：20～11：30

3 時限 11：40～12：50 4 時限 14：00～15：10

5 時限 15：20～16：30 6 時限 16：40～17：50

(授業科目、配当年次及び単位数)

第6条 授業科目、配当年次及び単位数は別表2に定める。

(単位の計算)

第7条 授業科目の単位修得時間は、次の算出方法による。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実習については、30時間から45時間までの授業をもって1単位とする。

(3) 講義、演習又は実習のうち二以上の方法により行う場合については、その組み合わせに応じ、前項に規定する基準を考慮した授業時間をもって1単位とする。

(履修手続)

第8条 学生は、履修しようとする授業科目について、主指導教員の指導のもとに、当該年次初めの所定の期日までに履修届を提出するものとする。

2 履修届提出後、履修科目の追加及び変更は原則として認めない。ただし、特別の理由があるときは、主指導教員と当該担当教員の承認を得て研究科委員会に変更を願い出ることができる。

(成績評価)

第9条 成績の評価は、当該授業科目時間の2/3以上の出席者を対象に、試験の結果、受講態度等を総合的に勘案して行う。

2 前項の試験は、レポートその他の方法をもって代えることができる。

3 各科目の成績評価は100点満点で行い、60点以上を合格とし、単位を認定する。

4 授業科目の成績は、秀・優・良・可・不可の評語をもって表し、秀(90点以上100点満点)、優(80点以上90点未満)、良(70点以上80点未満)及び可(60点以上70点未満)を合格とし、不可(60点未満)を不合格とする。

(成績評価に関する異議)

第10条 学生は各科目の成績評価について、異議を申し立てることができる。

2 異議申し立てに関する手続きについては、別途定める。

(課程の修了要件)

第11条 博士前期課程の修了要件は、当該課程に2年以上在籍し、以下の所定の授業科目を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することを必要とする。なお、各履修コースにおける必要単位数は次のとおりとする。

- ・研究者コース 看護学教育、老年看護学 32単位以上
基礎看護学、国際看護学、地域看護学、精神看護学、
慢性疾患看護学、クリティカルケア看護学 34単位以上
在宅看護学、母性看護学、 36単位以上
- ・臨床看護教育者コース 38単位以上
- ・高度実践看護師コース 在宅看護学、精神看護学、老年看護学、
クリティカルケア看護 46単位以上
慢性疾患看護学 48単位以上
こども看護学 52単位以上

2 博士後期課程教育研究コースの修了要件は、当該課程に3年以上在籍し、所定の授業科目を18単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することを必要とする。

(その他)

第12条 この規程に定めるもののほか、必要な事項については、研究科委員会の議を経て研究科長が別に定める。

(規程の改廃)

第13条 この規程の改廃は、研究科委員会の議を経て、学長が決定する。

附 則

本規程は、平成30年4月1日より施行する。

附 則

本規程は、令和2年4月1日より施行する。

附 則

本規定は、令和3年4月1日より施行する。

別表1

コース	領域
研究者コース	基礎看護学、看護学教育、国際看護学、地域看護学、在宅看護学、精神看護学、母性看護学、老年看護学、慢性疾患看護学、クリティカルケア看護学
臨床看護教育者コース	看護学教育
高度実践看護師コース	在宅看護学、精神看護学、こども看護学、老年看護学、慢性疾患看護学、クリティカルケア看護学

別表2

(博士前期課程)

科目区分			授業科目	配当年次	単位数		
					必修	選択	
共通科目	共通科目A	看護学共通科目	看護理論	1①		2	
			看護管理学	1③		2	
			看護教育論	1①		2	
			コンサルテーション論	1①		2	
			看護倫理	1①	2		
			看護政策論	1③		2	
		研究法	疫学的研究法	1②		2	
			量的研究法	1②		2	
			質的研究法	1③		2	
		特別科目	環境看護論Ⅰ	1②		2	
			看護の課題・展望Ⅰ	1②		2	
			家族看護学	1②		2	
			リハビリテーション看護論	1②		2	
			災害看護学	1②		2	
	共通科目B	看護学 フィジカル	高度フィジカルアセスメント	1②		2	
			高度病態生理学	1①		2	
			高度臨床薬理学	1②		2	
			臨床推論・診断学	1②		2	
	共通科目C	看護学 高度実践	高度実践看護師の役割と機能	1①		2	
			ヘルスプロモーション・疾病予防	1①		2	
			プライマリケア看護	1②		2	
			医療の質保証と安全管理	1②		2	
	専門科目	基盤看護分野	基礎看護学	看護開発特論	1①		2
				看護開発演習	1②・③(通)		4
				看護生体情報特論	1①		2
				看護生体情報演習	1②・③(通)		4
			看護学教育	看護学教育論	1①		2
看護人材開発・生涯学習論				1①		2	
看護実践教育カリキュラム開発演習				1②		2	
看護実践教育実習Ⅰ(基礎教育)				1②・③(通)		2	
看護実践教育実習Ⅱ(看護継続教育)				2①		3	
看護実践教育実習Ⅲ(統合実習)				2②		3	
国際看護学		国際看護学概論	1①		2		
		国際看護学方法論	1②		2		
		国際看護学演習	1③		2		
		国際看護学実践	1②		2		
共通		基盤看護学特別研究計画	1通		2		
		基盤看護学特別研究	2通		2		

広域看護分野	地域看護学	地域看護学特論	1①	2	
		地域看護支援論	1②	2	
		地域看護学演習Ⅰ	2①	2	
		地域看護学演習Ⅱ	2②	2	
	在宅看護学	在宅看護・福祉関連制度	1①	2	
		訪問看護ステーションの管理と運営	1①	2	
		在宅看護アセスメント技術	1②	2	
		在宅看護治療技術	1②	2	
		在宅看護調整技術	1②	2	
		在宅高度看護学演習Ⅰ	1③	2	
		在宅高度看護学演習Ⅱ	1③	2	
		在宅高度看護学実習Ⅰ	1②・③(通)	3	
		在宅高度看護学実習Ⅱ	2①	3	
		在宅高度看護学実習Ⅲ	2②	4	
	精神看護学	精神看護関連制度・諸理論	1①	2	
		精神看護アセスメント技術	1①	2	
		精神看護治療技術	1②	4	
		精神看護調整技術	1③	4	
		リエゾン精神看護学	2①	2	
		精神高度看護学実習Ⅰ	2①	3	
		精神高度看護学実習Ⅱ	2②	3	
		精神高度看護学実習Ⅲ	2③	4	
	共通	広域看護学特別研究計画	1通	2	
		広域看護学特別研究	2通	2	
	生涯発達看護分野	こども看護学	こども健康生活論	1①	2
			こども看護援助論	1①	2
			こども臨床推論・診断学	1②	2
こども看護治療技術			1②	2	
こども看護調整技術			1②	2	
こども高度看護学演習Ⅰ			1②	2	
こども高度看護学演習Ⅱ			1③	2	
こども高度看護学実習Ⅰ			1②・③(通)	6	
こども高度看護学実習Ⅱ			2①・②(通)	4	
こども高度看護学実習Ⅲ			2②	2	
母性看護学		母性看護対象論	1①	2	
		女性健康支援論	1②	2	
		女性健康活動論	1②	2	
		母性高度看護学演習Ⅰ	2①	2	
		母性高度看護学演習Ⅱ	2②	2	
老年看護学		老年看護学理論	1①	2	
		老年看護学アセスメント論	1①	2	
		老年看護学援助論	1②	2	
		老年看護学病態・治療論	1②	2	
		老年社会システム論	1②	2	
		老年高度看護学演習Ⅰ	1③	2	
		老年高度看護学演習Ⅱ	1③	2	
		老年高度看護学実習Ⅰ	1②・③(通)	2	
		老年高度看護学実習Ⅱ	2①	4	
		老年高度看護学実習Ⅲ	2②	4	
共通		生涯発達看護学特別研究計画	1通	2	
		生涯発達看護学特別研究	2通	2	

治療看護学分野	慢性疾患看護学	慢性疾患看護概論	1①		2
		慢性疾患看護アセスメント・治療技術	1②		2
		慢性疾患看護調整管理技術	1②		2
		慢性疾患・がん予防看護学	1②		2
		緩和ケア	1②		2
		慢性疾患看護学演習Ⅰ	1③		3
		慢性疾患看護学演習Ⅱ	1③		3
		慢性疾患看護学実習Ⅰ	1②・③(通)		3
		慢性疾患看護学実習Ⅱ	2①		3
		慢性疾患看護学実習Ⅲ	2②		4
	クリティカルケア看護学	クリティカルケア看護学概論	1①		2
		急性・重症患者看護治療技術	1②		2
		急性・重症患者看護管理技術	1③		2
		クリティカル緩和ケア看護学	1②		2
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ	1③		2
		クリティカルケア看護学演習Ⅱ	1③		2
		クリティカルケア看護学演習Ⅲ	1③		2
		クリティカルケア看護学実習Ⅰ	1③		3
		クリティカルケア看護学実習Ⅱ	2①		3
		クリティカルケア看護学実習Ⅲ	2②		4
	共通	治療看護学特別研究計画	1通		2
		治療看護学特別研究	2通		2

(博士後期課程)

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	
				必修	選択
共通科目	看護学 共通科目	看護と科学	1①	2	
		看護の概念・理論構築	1③	2	
		看護学研究法	1①	2	
		看護生体科学研究	1①		2
		質的看護研究法発展	1②		2
		看護介入研究法発展	1②		2
		看護高等統計学	1③		2
		環境看護論Ⅱ	1②		2
		看護の課題・展望Ⅱ	1②		2
		脳科学と行動	1①		2
	論文支援 科目	研究計画Ⅰ	1②	1	
		研究計画Ⅱ	1③	1	
		英語論文作成法	1①		1
専門科目	基盤 看護分野	基盤看護学特論	1①		2
		基盤看護学演習	1②・③(通)		4
	広域 看護分野	広域看護学特論	1①		2
		広域看護学演習	1②・③(通)		4
	生涯発達 看護分野	生涯発達看護学特論	1①		2
		生涯発達看護学演習	1②・③(通)		4
治療 看護分野	治療看護学特論	1①		2	
	治療看護学演習	1②・③(通)		4	
特別 研究	特別研究	看護学特別研究	1・2・3(通)		4